

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 41

千葉県立市川昂高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校を志願する動機及び理由が明確であり、人物に優れ、次のア、イ又はウのいずれかに該当する生徒

ア 特に学習成績が優れていること。

イ 学習成績が良好で、特別活動（生徒会活動、委員会活動）において中心的な役割を果たしていること。

ウ 学習成績が良好で、部活動において実績があり入学後も活動を継続する意思があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名・評価者3名の集団面接（1グループ15分程度）

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ～エについて加点(上限65点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	① 3ヶ年皆勤，3年間で欠席3日以内については加点する。 ② 3年間で30日以上欠席がある場合は，審議の対象とする。
ウ 行動の記録	① ○の個数に応じて加点する。 ② ○が一つもない場合は，審議の対象とする。
エ 特別活動の記録，部活動の記録及び特記事項	学級活動，生徒会活動，委員会活動，部活動，その他の活動で，特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は，総合的に判断する際の参考とする。

(3) 面接 [54点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。3名の評価者の評価(各18点満点)を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	動機が明確である。
イ 意 欲	高校生活に前向きに取り組もうとする姿勢がある。
ウ 受け答え	質問を的確に理解し、簡潔・明快に答えられる。
エ 態 度	受検者にふさわしい身なり・態度・言葉遣いである。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学者許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	(135+ α -m)点	65点	54点	(754+ α -m)点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m: 当該志願者の在籍する中学校の第3学年(義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年)の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
- イ 入学許可候補者内定者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、個人面談を行う。